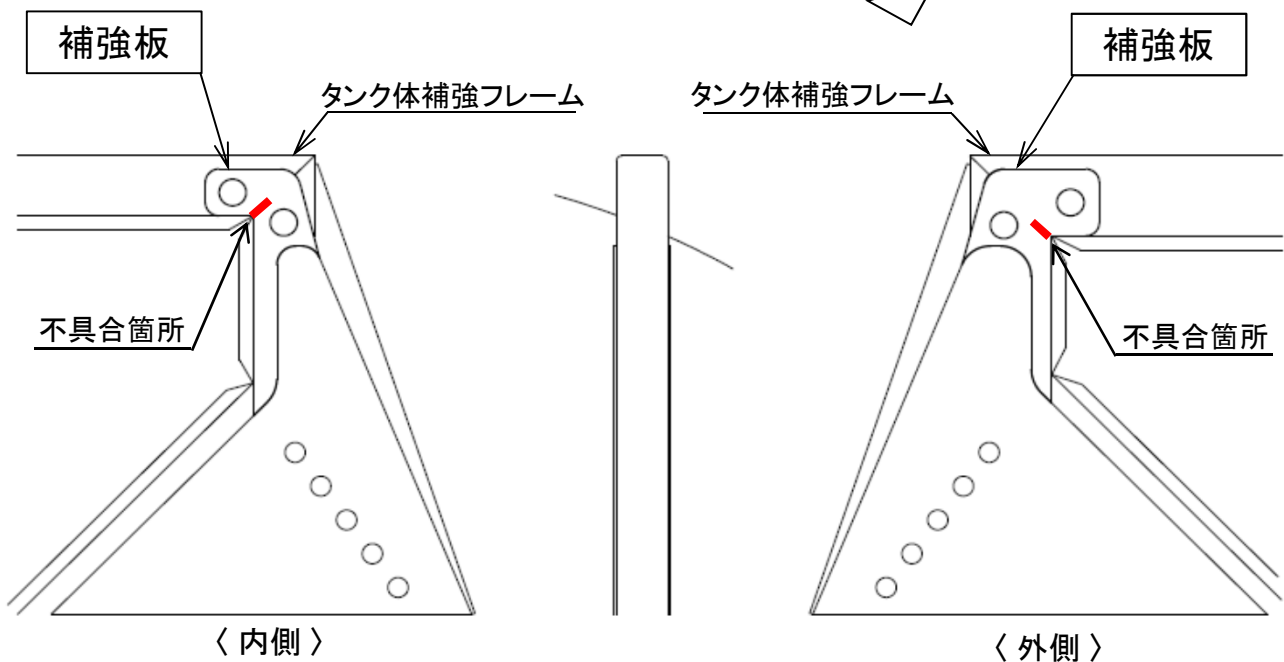


改善箇所説明図



□ は、交換部品又は追加取付する部品を示す

ステンレス製粉粒体運搬セミトレーラにおいて、タンク体補強フレームの構造強度の評価が不適切なため、タンク体補強フレームの溶接部の強度が不足しているものがある。そのため、走行時（旋回や段差乗り換え等）の衝撃により、溶接部に亀裂が発生し、そのまま使用を続けると、溶接部が破断するおそれがある。

【改善措置の内容】

全車両、タンク体補強フレームのコーナー部に補強板を取付ける。なお、当該部位を点検し、亀裂が発生している場合は、補修を行った後、補強板を取付ける。

識別：改善実施済車には、車台番号打刻位置付近にNo.3807のリコール対策済ステッカーを貼付ける。